

## 1.17 被災地交流会

in 西宮

1月16～17日の2日間、東日本大震災、新潟中越沖地震、阪神淡路大震災の被災地による交流会を開催しました。

16日、兵庫県西宮市にある西宮神社会館にて開かれた交流会には、東日本大震災で被災した久慈市、野田村の人たちと新潟中越沖地震で被災した刈羽の人たち、地元西宮の人たち、関西学院大学、大阪大学、NVNADのメンバーが参加しました。

被災地の現状をそれぞれ報告いただいた後、4つのグループに分かれて今後の交流のあり方について話し合いをしました。話し合いの中で、今後とも交流を長く続けていくためには、イベントなどの企画が大切という意見も出て、具体的には、従来のイベントである「こなもん大会」を行いながら、若い人にも参加しやすい新しい企画（コスプレなど）を盛り込んで、参加したいと思う人を増やすような企画をしてはどうかという案が出ました。また、刈羽と野田村は遠距離だけど、新しい企画するにあたり、TV会議等で意見交換しながら交流を図ることもできるという意見もありました。そして、野田村と西宮の子ども達の交流は、次世代に向けた人づくりにもつながっていくため、今後とも続けてほしいという要望も出ました。

このような市民の交流は、震災後から自然発生的に生まれましたが、息の長い交流活動を今後も続けていくためには、活動資金が必要になってきます。グループでは活動資金として、テーマ別による募金活動や、チャリティー活動を通じて資金の確保を進めていく必要があるという意見が多く出ました。



17日は、神戸市東遊園地で行われる阪神淡路大震災の震災メモリアルに参加しました。この時期にしては珍しく朝から冷たい雨が降っていましたが、多くの人たちが雨の中であろうそくに火を灯し、地震が発生した5時46分に合わせて祈りを捧げました。今年で23年目を迎えた阪神淡路大震災、1月17日の祈りは、日本各地で起きた災害の犠牲となられた方々に捧げられる祈りのようでした。

2日間におよぶ交流会は、あっという間に過ぎました。交流会にご参加いただきました皆さま、遠方よりお越しいただき本当にありがとうございました。次回の交流会での再会を心待ちにしています。

### - c o n t e n t s -

- P1・・・ 1.17被災地交流会 in 西宮
- P2・・・ Vision 117/九州北部豪雨報告会/西宮市総合防災訓練
- P3・・・ 災害食セミナー/野田村交流事業報告/小学生ぼうさい探検隊マップコンクール
- P4・・・ 親子防災教室/災害ボランティア養成講座/久崎市/ピザ焼きイベント
- P5・・・ 防災ふれあいウォーク/チャリティーカレンダー市/美かえる大キャラバン
- P6・・・ KSN交流会/子ども防災クラブ/すまいるの取り組み
- P7・・・ Nうごき/Nごよみ
- P8・・・ Nごよみ(続き)/会員・寄付者・募金者のみなさま/寄付のお願い/編集後記

# Vision 117

1月17日。それは私たちにとって決して忘れることのできない日です。今年もあの日が巡ってきました。今年も、中越沖地震の被災地新潟県刈羽村から、そして、東日本大震災の被災地岩手県野田村から、被災された皆さまをお迎えして、西宮の被災者の方々と交流していただき、そして、一緒にあの時刻を迎えました。

私たちにとりましては、この日を境にまた新たな1年が始まりました。あれから23年。NVNADは、災害救援、復興支援、地域防災に関わる団体として、何ができて、何ができていないのかを改めて問い直す機会を大切にしています。

救援の時期からお世話になって参りました国内外の被災地。緊急時から心がけてはおりますが、お一人お一人にじっくりと向き合うことができてきたで

しょうか。復興へと進む過程で、被災地の文化、歴史、伝統を理解しつつ、現地の人たちと一緒に歩んで来ることができたのでしょうか。そして、地域の防災について、誰一人取り残されることなく参加できるような活動をお手伝いできているのでしょうか。また何よりも、こうした活動を行うに当たり、会員の皆さま、そして、全国から多くの皆さまに支えていただいていた参りました。皆さまの思いにお応えできているのでしょうか。

NVNADでは、団体に関わる一人一人がこうした問いに真摯に向き合い、これまでを振り返りながら、少しでもお応えできる活動へとつなげていこうとしています。震災23年を経て、そろそろ震災25年という節目も話題に上るようになってきたように感じています。NVNADとしましては、何周年という言葉に気をしつつも惑わされることなく、今年も今年の現状から、しっかりと過去と未来を見据えて活動を深めていきたいと思っております。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(理事長 渥美公秀)

## ===九州北部豪雨災害報告会===

11月10日、西宮市総合福祉センターにて、西宮市、西宮市社会福祉協議会、NVNADの主催で、職員の研修も兼ねて「九州北部豪雨災害活動報告会」を開催しました。まず前半は、7月5日に発生した九州北部豪雨災害での活動報告と、11月1日の西宮市防災訓練での災害ボランティアセンター運営訓練について報告しました。後半では、西宮市に大地震が発生した場合を想定して、どのような対応を考えていけばよいか、6つの班に分かれて話し合っていたいただき、最後に発表していただきました。行政、社協、NPO、市民などの連携の重要性を改めて感じました。

**西宮市**

**総合防災訓練**



11月1日、西宮市主催の総合防災訓練が、アサヒビール工場跡地で開催されました。NVNADは西宮市、西宮市社会福祉協議会と共同で『災害ボランティアセンターの運営訓練』で参加しました。大規模災害が発生した想定でボランティアの受付が始まり、ボランティア役とニーズをつなぐマッチング訓練を中心に行いました。私たちの今回の目的はスタッフのレベルアップの向上で、いかに臨機応変に対応できるかを視点において実施しました。いくつかの課題点に気付けたことが、今回の大きな成果だと思います。西宮市、および西宮市社会福祉協議会の皆様、お世話になりました。

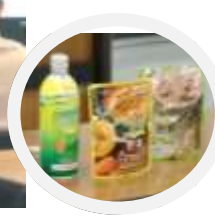


## 災害食セミナー



12月9日、西宮市民会館にて「災害食セミナー」を開催いたしました。講師として甲南女子大学名誉教授の奥田和子先生にお越しいただき、熊本地震や九州北部豪雨災害での活動事例なども紹介していただきながら、日頃から災害食(備蓄食)の準備をしておくことが大切であることをお聞きしました。南海トラフ大地震などでは、外部からの支援がすぐには入って来ない可能性が高いので、最低でも

1週間分以上の備蓄を推奨されています。大規模災害はいつどこで起こるか分からない時代です。いざという時のために、できることから始めていければと思います。



## 野田村交流事業報告

東日本大震災でNVNADは岩手県野田村の支援を続けています。そのきっかけの一つが阪神大震災時の西宮の子どもたちです。被災地児童招待キャンプでお世話になった八戸の方々と向かったのが当時ボランティアがほとんど入っていなかった野田村でした。23年4月に野田村入りして以来、私は子どもたちの支援を中心に活動。今は支援というより「交流」となり、6回目を迎えた今回は、より継続することの意義を感じました。



事業実施は野田小学校の冬休み中で、近年は1.17の震災行事に参加しています。今回は1月14日から17日の日程で、4人の中学生、6人の小学生、3人の保護者が訪れました。何度か来ていた中1が「小学生の時とは違って、復興について考えた」、初めて参加の小6も「西宮の人たちの温かさを体験した」と感想を述べています。また、彼らが来るたびに西宮の人たちも様々な面でサポートしてくれますが、「以前は1.17が来るたびに憂鬱だったが、野田村の人たちが来ることで期待できる時間になっている」と野田村の方たちに元気をもたらしていると言っています。このように西宮、野田村の両方にとってより良い交流になっていることは間違いのないと思います。

阪神大震災の体験が東日本大震災被災地で少しでも生かしてもらえたら、そして未来につながる子どもたちに伝えていけたらと切に願います。(NVNAD理事 米山清美)

今回の日程：1/14夕方到着後歓迎会、1/15姫路城見学(小中学生の希望による)、1/16西宮市立山口中学校交流会、西宮神社社会館での交流会参加、1/17西宮市震災記念公園での記帳と献花、夕方野田村帰着

## 第14回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール



12月11日、日本損害保険協会の本部(東京)にて、第14回小学生ぼうさい探検隊マップコンクールの本審査会が開催され、審査委員として出席しました。今年度もたくさんの素晴らしいマップが全国から寄せられ、年々レベルが上がっているように感じました。審査委員の皆様もそれぞれの賞を決めるのに相当悩まれていたご様子でした。表彰式は1月下旬に東京で開催される予定です。事務局を担ってくださっている日本損害保険協会の皆様に心よりお礼申し上げます。

# 親子防災教室



和歌山県みなべ町にこのほど完成した『津波避難センター』の会議室にて、12月27日、わかやまNPOセンター主催、近畿ろうきんの共催で「親子防災教室」が開催されました。みなべ町の親子を中心に、周辺地域からも参加されていました。主催者から趣旨説明があり、次に津波避難センターの説明をしていただきました。そして、南海トラフ巨大地震について、簡単に紹介した後、実際に避難訓練を実施しました。また、避難途中に注意箇所などの確認もしてもらい、各避難所では、スタッフより防災クイズを出題しました。NVNADにとっては初めての試みでしたが、参加者から色々な感想をお聞きし、このような取り組みの必要性を改めて感じました。運営にあたり多大なご

協力をいただきました、みなべ町役場、みなべ町社会福祉協議会、南部高校の皆様にご心よりお礼申し上げます。

## 災害ボランティア養成講座

11月4日と23日の2日間、大阪府岬町社会福祉協議会主催の「災害ボランティア養成講座」が開催され、講師として招かれました。1日目は災害ボランティアの基礎知識についての講演、2日目は災害図上訓練(DIG)を実施させていただきました。岬町の皆さんは災害の備えに対しても熱心で、住民同士のつながりも深く、いざという時には地域住民の助け合いだけでなく、災害ボランティアセンターの運営にも大きな力になっていただけているのではないかと思います。岬町社会福祉協議会の皆様、色々とお世話になりありがとうございました。



## 『久崎市』



12月24日、佐用町の久崎にて恒例の「久崎市」が開催され、今年も行ってきました。「久崎市」は久崎商店街の通りにステージやお店が立ち並び、地元の皆さんだけでなく、色々な地域からも来られています。一緒に活動しているチャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)のメンバーは、いつもの場所でカフェ&飲食スペースのブースを担当してくれました。今年はいよいよ天候にも恵まれ、とても賑わいました。久崎地域の皆様、いつもありがとうございます。

## 『ピザ焼きイベント』

11月26日、兵庫県丹波市前山地区にある『オアシスいつせ』にて、地元主催による「ピザ焼きイベント」が開催され、大阪大学災害ボランティアサークルすずらんの学生メンバーと一緒にってきました。地元のボランティアメンバーが手作りでピザ窯を作られ、それを使って今回のピザ焼きイベントを開催しようという試みです。ピザ窯は2段に分かれていて、下段にマキを入れて火を焚き、上段にピザ生地を入れて焼くというものです。火加減にもよりますが、ピザ生地を入れてほんの3~5分程度で焼き上がります。焼き立ては、あたたかくて最高に美味しかったです。



たです。お声をかけてくださった前山地区の北村様、いつもありがとうございます。



## 防災ふれあいウォーク

11月19日、武庫川女子大学にて恒例となりました「防災ふれあいウォーク」を実施させていただきました。当日、まずは南海トラフ地震についての説明を行った後、学生企画による防災クイズを実施しました。その後、武庫川女子大学の先生のご指導による準備体操をし、身体が少しぬくもったところで防災ウォークラリーの説明に入りました。今回は、チェックポイントを10カ所設定し、グループに分かれてその内武道館を含め4か所のチェックポイントを回って来てもらうことにしました。



ゴールである栄養科学館では、協賛企業と学生企画の災害食の展示コーナーを設置して、自由に見学していただいたり、各グループで成人の1日の災害食の検討や主催者による災害食のポイント説明、あるいは、学生による防災クイズや九州北部豪雨災害の報告などのプログラムを実施しました。

最近、各地で地震や水害など頻繁に発生しており西宮や阪神間でも大規模災害がいつ起こるかわかりません。このような取り組みを今後も継続していければと思っています。お世話になりました関係者の皆様にお礼申し上げます。

## 第22回 チャリティー カレンダー市

1月7～9日の3日間、恒例となりました「チャリティーカレンダー市」を西宮市役所東館8階の大ホールにて開催させていただきました。1月5日と6日の2日間がカレンダーの受入日でしたが、今回も全国の企業や個人の皆様から昨年と同じぐらいたくさんのカレンダーや手帳が届きました。



1月7日の初日は朝10時のオープンにも関わらず、朝早くから会場入り口は大勢の人。長蛇の列で迎えた10時のオープンと同時に会場内はすぐに満員になり、安全面に配慮して入場制限を行いました。例年でしたら昼頃には廊下で待っていただいている行列は途切れるのですが、翌日の雨予報もあり、行列がなくなったのは15時過ぎ。2日目は雨の影響で来場者は少なめで、3日目は「えべっさん」のお陰か、最終日には多くの方にお越しいただきました。

3日間の売上は合計1,433,750円となりました。この売上は、九州北部豪雨をはじめ、東日本大震災や佐用町、熊本地震などの被災地の支援活動に有効に活用させていただきたいと思っております。また、今後予期せぬ災害が発生した場合に、先遣隊の初期費用の一部として活用させていただければと思っております。今年で22回目を数えますが、このカレンダー市が開催できますのも、多くのボランティアの皆様のご協力のお陰と感謝しております。最後になりましたが、カレンダーをご寄贈いただいた企業・個人の皆様、当日会場にお越しくくださった皆様、そして、開催にあたり陰ながらご支援くださった西宮市職員の皆様にも、この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 「イザ！美かえる大キャラバン！」

毎年恒例となりましたNPO法人プラス・アーツ主催の「イザ！美かえる大キャラバン！2018」。今年も、佐用町の水害を忘れないことを目的に、兵庫県佐用町特産品の竹炭を使った【竹炭石けんづくり】を実施しました。「ハートの石鹸作りたい！」「僕はクマさん！」と元気いっぱいの子もたちや、JICA日本に研修に来られている外国人の方も、熱心に石鹸作りを楽しんで頂き、子ども満足度ランキングでは二年連続堂々の第一位を頂きました！お手伝い頂きましたボランティアの方々、ありがとうございました。



# KSN交流会

K S N  
(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)



11月12日、西宮市総合福祉センターにて、KSNの学習会を開催しました。子ども達が各自持ち寄った宿題や勉強などを学生リーダーと一緒にやってもらったあと、手作りのハンバーガーづくりに挑戦してもらいました。とてもボリュームのある素晴らしいハンバーガーが出来上がり、みんなで美味しくいただきました。昼からは近くの公園に移動して、学生リーダーと一緒に自由に遊びました。そして、最後は学生リーダーから子どもたちにハンバーガーと一緒に撮った写真のプレゼントがあり、プログラムは終了しました。次回の活動も楽しみです。

12月21日、関学会館にて、恒例となりましたKSNのクリスマス会を開催しました。今回で7回目の開催で、当初の子どもたちも随分成長してきました。プログラムは、立食形式で食事をしながら、歌ありゲームありの楽しいプログラムを関学社会学部の関ゼミ生が中心となって企画・進行してくれました。初めてご参加の親子を含め、総勢80名を超える大人数で、にぎやかで楽しいクリスマス会でした。色々と準備をしてくださった西宮市社会福祉協議会の皆様に感謝申し上げます。



## 子ども防災クラブ



12月16日、高木小学校にて第4回子ども防災クラブの活動を行いました。西宮市社会福祉協議会と高木分区の皆様にもご協力いただき『ポッチャ』に挑戦しました。ポッチャとは、ヨーロッパで生まれた『障がいを持った方のために考案されたスポーツ』でパラリンピックの正式種目となっています。社協の方からルールや進行の説明を聞き、ほとんどの人が初めての試みでしたが、老若男女でわいわいと楽しめました。西宮社協と高木分区の皆様、どうもありがとうございました。

1月27日、高木小学校にて『防災カルタ大会』を行いました。第5回目の活動となる今回は学生リーダーによるオリジナルのプログラムで、絵札一覧表を見ながら自分たちで読み札を考えよう！という内容です。防災の要素をどれだけ組み込めるかが重要なポイントで、最年少の小学3年生には難しいかなと心配しましたが、負けじと一生懸命に取り組んでいました。最後の全員カルタ大会では皆が歓声をあげて盛り上がりました。ご協力いただいた学生リーダーさん、どうもありがとうございました。



## 【すまいる】の取り組み



11月5日、三ノ宮にある神戸サンボーホールにて第26回生協まつりが開催されました。生鮮食料品や物産の販売コーナーを中心に、子どもの遊びコーナーなどたくさんのブースが出店され、会場はとても賑わっていました。我々NVNADは、近畿ろうきんの社会貢献預金「すまいる」の取り組みの一環として、近畿ろうきんと共催で『ぼうさいダック』というカードを使った防災プログラムを実施させていただきました。

短い時間ではありましたが、参加して下さった親子の皆さんに、防災の大切さについて学んでいただけたのではないかと思います。これからもこのような機会があれば、積極的に関わっていければと思っています。生協の皆様、近畿ろうきんの皆様、色々とお世話になりありがとうございました。




# Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

11月	1日	西宮市総合防災訓練（西宮市）			
	4日	災害ボランティア養成講座「基礎編」（大阪府岬町）			
	5日	第26回生協まつり（神戸市）			
	10日	九州北部豪雨災害活動報告会（西宮市）			
	12日	KSNプロジェクト学習会（西宮市）			
	17日	ニュースVol.113発行			
	19日	防災ふれあいウォーク（西宮市）			
	23日	災害ボランティア養成講座「上級編」（大阪府岬町）			
	26日	地元イベント（兵庫県丹波市）			
	30日	防災学習会（西宮市）			
	12月	5日		ろうきん担当者研修会（兵庫県姫路市）	
		8日		樋ノロ小学校講演会&マップづくり（西宮市）	
9日		災害食について講演会（西宮市）			
11日		第14回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール審査会（東京都）			
15日		災害ボランティア講座（大阪府八尾市）			
16日		第4回子ども防災クラブ（西宮市）			
16～17日		災害ボランティアコーディネーター養成講座（三重県伊勢市）			
21日		KSNプロジェクト交流会（西宮市）			
22日		韓国訪問団講演（西宮市）			
24日		佐用町「久崎市」に参加（兵庫県）			
27日		親子防災教室（和歌山県みなべ町）			
1月	7～9日	第22回チャリティーカレンダー市（西宮市）			
	13日	NPOはらっぱ訪問（西宮市）			
	14～17日	1.17行事「被災地交流会in西宮&野田村子ども招待事業」（西宮市）			
	27日	第5回子ども防災クラブ（西宮市）			
	27日	第14回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式（東京都）			
	28日	イザ！美かえる大キャラバン！2018（神戸市JICA関西）			

# Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

2月	2日	西宮市立東高等学校避難所運営訓練「HUG」（西宮市）	
	3日	樋ノロ小学校防災マップ 第1回目（西宮市）	
	10日	樋ノロ小学校防災マップ 第2回目（西宮市）	
	14～15日	防災研究会（兵庫県上郡町）	
	17日	ニュースVol.114発行	
	17日	よどがわ防災まつり（大阪府枚方市）	
	18日	防災イベント「みやもん」実施（西宮市）	
	22日	防災講演会（兵庫県尼崎市）	
	24日	災害ボランティア講座（三重県多気町）	
	25日	佐用町訪問（兵庫県）	

3月	3日	親子でわがまち探検隊（西宮市）
	3日	子ども防災クラブ（西宮市）
	5日	災害ボランティア講座（奈良県大和郡山市）
	10～11日	佐用町訪問（兵庫県）
	未定	通常理事会
4月	8日	佐用町桜まつり（兵庫県）



## ～会員・寄付者・募金者のみなさま～

### ■会員のみなさま（2017年11月1日～2018年1月31日）

個人正会員：「継続」渥美公秀、渥美直子、定藤美雪、片岡春樹

個人賛助会員：「継続」渥美樹里、渥美杏奈、高橋聡子、堂野喜美子、掛田紀夫

### ■寄付者のみなさま（2017年11月1日～2018年1月31日）

「一般」：株式会社NIコンサルティング、木村真典、楢崎正名、定藤美雪  
近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、神戸マリナーズセンター  
NPO法人はらっぱ、掛田紀夫、甲斐根将志、シバヒロシ  
シルバー人材センター、ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

### ■募金者のみなさま（2017年11月1日～2018年1月31日）

「東日本大震災」 グッドスナカヤマヨシ

「九州北部豪雨災害」 小椋康成、星野典子、カレンダー市にご来場の皆様

### ■ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

## NVNADを支えて下さい

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり活動、ネットワーク活動、災害についての講演、講座、セミナーなどの活動を行っております。皆様から頂いた寄付は、この活動を継続していくために役立ててまいります。ぜひともご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【振込銀行】 三井住友銀行 西宮支店 普通 No. 7833406  
(名義) 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

なお当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は税制優遇を受けることが出来ます。  
この場合、住所と連絡先をお知らせ下さい。

### 編集後記

昨年の夏からお借りしていた西宮市高木地区の畑で、1月末に大根とカブが初めて収穫できました。地元の皆様には大変お世話になりましたが、この都市農業プロジェクトも少しずつではありますが、前に進んできています。今年もまた新たなチャレンジが出来ればと思います。(H.T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市榎塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀